

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)堺市榎元町計画	階数	地上10F
建設地	大阪府堺市堺区榎元町	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	303 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2017年8月30日
敷地面積	4,005 m ²	作成者	長谷工コーポレーション 鈴木
建築面積	1,636 m ²	確認日	2017年8月30日
延床面積	8,978 m ²	確認者	長谷工コーポレーション 吉村



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%
②建築物の取組み 59%
③上記+②以外の 59%
④上記+ 59%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	環境と負荷低減に配慮し、緑地を確保し緑量感のある計画を行っている	その他 特に無し
Q1 室内環境	室内環境の向上を目指し、F☆☆☆☆建材を使用している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地境界沿いに緑化を行い、周辺への景観に配慮している。
LR1 エネルギー	エコジョーズ等の採用により、設備システムの効率化に重点を置いている。	LR3 敷地外環境 適切な駐車スペースを確保している。
Q2 サービス性能	劣化対策等級3など、耐久性に優れている。	
LR2 資源・マテリアル	有害物質を含まない建材を使用している	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)堺市榎元町計画	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区榎本元町5丁 334-1、335、336-2の一部	1.9	A
	主用途/延床面積	集合住宅 / 8,977.70 m ²		

2. 重点項目への取組み				
重点項目	評価点	取組み度		
CO ₂ 削減	5	■ ■ ■ ■ ■		
省エネ対策	4	■ ■ ■ ■ ●		
みどり・ヒートアイランド対策	2	■ ■ ● ● ●		
安全快適な暮らし	3	■ ■ ■ ● ●		

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア					
CO ₂ 削減	評価項目			スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値			4.6	5
省エネ対策	評価項目			スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコア による評価値	建物全体	3.0	4	
		住居・宿泊部分	5.0		
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値				4.0
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値				3.0
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値				5.0
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値				3.0
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値				3.4
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目			スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値			2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値			3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値			2.0	
安全快適な暮らし	評価項目			スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値			4.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値			3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値			3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値			4.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	